

ケモミミ戦記 天

トラック1:招集

・(落ち着いたトーンで冷たく冷酷な感じ)

..(右前30センチ)

//(主人公が部屋に入って来た)

…どうも、新人さん…貴方が今回のバディ…で間違いないわよね？

ええ、話には聞いているわ、最近この特殊作戦部隊に新人が入ったってね。

そう、まあいいわ…私は「オルファン」一応…よろしく。

..(正面30センチに移動しながら)

//(ヒロインが机の資料を漁る)

えっと…これが今回の任務の資料ね、へえ…敵対勢力側の防衛の要である山岳

要塞、それを突破するのに障害となる対空兵器の無力化及び

通信機能に対する内部工作を最終目標とする。

18 極秘作戦「山崩し」…か、早い話いつもの潜入工作ね。
19 長いことこの戦線は膠着状態が続いていたのだけど…
20 上もやっと重い腰を上げたのね。
21 ほんと呆れる、遅すぎるわよ。
22
23 ・（独り言を言うように）
24
25 …妙ね、この作戦内容なら私一人で十分実行可能のはずだけど…新人の教育を
26 こんな大事な作戦で兼ねようって魂胆ね、本当に呆れた！
27
28 ・（最初より少しだけ明るく）
29 //（主人公が打ち解けようと話しかけてくる）
30 （「人間」の語気を少し強目に）
31
32 …なによ…あまり馴れ馴れしくしないで。
33 私、任務以外で「人間」と関わる気無いから。
34 それに、お互いに顔も内面も、本名すら知らないでいる方が楽よ。
35 特に私達、特殊作戦部隊はね。

36 そう言えば聞いてなかったわね、貴方、コードネームは？

37

38 ・（呆れたように）

39 //（主人公のコードネームはケモミミフェチです）

40

41 …え？なによ…それ…

42 …私、絶対にそれ呼ばないから

43 …もういい、とにかく、貴方と馴れ合うつもりはないから。

44 それじゃあ…またね。新人さん、精々私の足を引っ張らないようにしなさいよ。

45

46 ・（上司との会話、無感情に敬語で）

47 …（左前30センチ）

48 //（上司に呼ばれ、ヒロインが部屋に入る）

49

50 はい。失礼します。

51 総司令官殿、私の様な獣人に何の御用でしょうか？

52

53 //（上司…オルファンに主人公の抹殺を命令する）

54

55 はい…はい？それは…一体どういう…

56 いえ、了解しました。彼を…あの新人を抹殺、

57 それをもって山崩しは完了、と言つことですね。

58 はい。問題はありません。それでは、失礼します。

59

60 ・（考え事をしながらの独り言）

61

62 どういうこと？…彼は…一般の志願兵だったはずだけど…

63 …いえ、私の考えることじゃないわね…命令は絶対、

64 それでいいのよ…

65

66 トリック2…開幕

67

68 ・（最初より更に冷たく、淡々と）

69 …（正面20センチ）

70 //（ヘリコプターにて現地入りする最中）

71

72 作戦開始地点到着まで残り10分…、今の所は問題無し…と。
73 貴方、しっかり作戦概要は頭に入れているでしょうね？
74 そう…ならいい。今回の作戦は決して失敗は許されないの。
75 別に貴方に期待はしていないけれど、
76 くれぐれも足を引っ張る様な事だけはしないで。
77
78 ・（独り言を言うように）
79
80 …あれが山岳要塞ね、深い森に囲まれている上に制空権の確保も不可能。
81 まさに難攻不落の要塞…さっさと私を出せばよかったのに…
82
83 ・（冷静だが少し慌てて）
84 //（爆撃を受ける）（「何すんのよ！」の後にもう一度）
85
86 ツツ…、何事よ！
87 対空砲？報告と性能が違っじゃない！
88 報告ミス？…もしくは兵器の性能が上がったのか…
89 てっ…今はそんな場合じゃない！とにか（く）…きゃっ！

90
91 // (主人公に押し倒される)
92 ・(少し声量を落として)
93 ..(右耳5センチ)
94
95 ちよつと、何すんのよ!…つて!?
96
97 ・(さつきより少し落ち着いて)
98 ..(正面20センチ)
99 // (攻撃を受けて墜落、主人公が庇ったのでヒロインは軽傷)
100
101 ケホッ、ケホッ … はあ…ちよつと、貴方生きてる?
102 …ひどい怪我…
103
104 ・(独り言を言うように)
105
106 何で庇ったのよ…、私は…貴方を…
107 …と、取り敢えず撤退しないと!
108
109 ・(主人公を心配する様に)
110
111 じつにどごまるのは危険、ねえ貴方動ける?

112 …体は動くのね、良かった…それで、問題は？
113 …目が見えないのね…、
114 了解、取り敢えず私が支えるから、行くわよ。
115
116 …（右耳5センチ）
117 ん…大丈夫？さ、急ぎましょ…
118
119 …（正面20センチ）
120 //（移動、簡単な拠点を建てる）
121 …（冷静に状況を整理する）
122
123 取り敢えず、ここまで移動すれば大丈夫ね。
124 はあ、状況は最悪ね…装備はほとんど放棄して来ちゃったし、
125 マスクもダメね…顔が割れたら厄介だつてのに…
126 何より貴方の怪我…
127
128 …（正面5センチに近づきながら）
129 …（主人公と対話することでヒロインに気持ちの整理をつけさせる
130 場面です。主人公に歩み寄る様な雰囲気）
131

132 ねえ…手当てしてあげるから、よく見せて…

133 …どうして…何故、私を庇ったの？

134 あの状況、自分の命すら危ういのに、しかも私は獣人なのよ…？

135 人間の貴方が…別に深い仲でもない小生意気な獣人を庇って、

136 しかもこんな大怪我までして…何考えてんのよ…

137

138 〳〵（主人公…理由なんて無い、仲間を助けるのは当然のこと）

139

140 …えっ…何それ…ふふっ、そうなのね、そっか…貴方は、

141 そういう人なのね。そっか…ほんとお人好しなんだから…

142 そんなじゃ、いつかわるーい女にころっと騙されちゃうわよ？

143 …ふふふっ、なーんて…

144 うん、怪我也そこまでじゃないわ、

145 適切な治療を受ければ視力も回復するはずよ。

146 今日の所はもう休みましょう。上には私が連絡しておくから。

147 うん、気にしないで、お疲れ様。

148

149 …（左前20センチ）

150 ・（独り言を言う様に）

151

152 なんなのよ、流石にお人好しすぎ…

153 こんな私を庇うなんて…

154 …決めたわ、彼は殺させない。

155 一応…この組織にも今までの恩もあるし、

156 この作戦…山崩しだけは必ず成功させてあげる。

157 でも、その後は知らない。彼を抹殺なんてさせないし、

158 私もこんな組織にはもう居られない。

159 それには…彼の事を助けられる方法が…一つだけあるのだけど…

160 …この事を伝えたら、彼は私を許して、怒って…くれるのかな…

161
162 トラック3…休息

163

164 …（正面20センチ）

165 ・（少し打ち解けた様子で）

166 //（装備の調整をして、作戦前に準備をしている）

167

168 うーん、まあこんなところかしら、よし！準備終わり！

169 ええ、大丈夫よ、絶対に明日の作戦は成功させるから。

170 貴方は私のためにお祈りでもしてなさい、ふふっ…

171 ううん、気にしないで。そもそも私一人で余裕な作戦なんだから、

172 貴方もこの部隊に入隊出来るくらいには動けるみたいだけどね。

173 そう言えば、貴方は志願兵だったわよね？

174 何でわざわざこんなとに来たのよ？

175 戦時中とはいえ、殺し合いするより、

176 ずっとマシな生活が送れる筈じゃない。

177 へえ、ほんとお人好しなのね。お国の為だなんて。

178 でも立派だと思うわ。素敵じゃない。

179 え、私？

180 私は孤児院の出身でね…小さい頃から訓練させられたの。

181 優秀だったのよ、小さな頃からね。

182 そして、そのままここに徴兵って訳、

183 でも、別に人間を恨んでる訳じゃないのよね、私。

184 そこまで酷いことされた事はないし、

185 獣人にしてはきつと待遇も良かったわ。

186 ただ何となく人間が気に食わないだけ。

187

188 (恥ずかしがる様に)

189

190 …まあ、その貴方のことは別に嫌いじゃない…
191 と言うかその…なんか…特別と言うか…
192 …な、なんでもない！
193 …いや…その…なんと言うか…その…好き…かも…
194 いやっ、その…別に付き合っで欲しいとそんなこと言わないから！
195 ただ、初めての感情で、
196 自分でもどうすれば良いか分からないと言うかその…
197 …え、どうしたの？
198
199 …（右耳5センチに近づく）
200 ・（部分囁き声）
201 //（主人公に呼ばれて近づいて抱きつかれる）
202
203 わっ…ちょ、ちょっと…
204 …急に抱きしめないでよ…
205 …そんなことされたら…勘違い…しちゃうじゃない…
206 だ、ダメに決まってるじゃない！
207 獣人なんかと付き合ったら、
208 ケモナーって呼ばれて馬鹿にされちゃうのよ？

209 貴方は…色んな意味で気にしなさそうだけど…

210 でも…貴方が悪く思われるのは嫌なの。

211

212 ・（少し早口で取り繕う様に）

213

214 ほんとに、そんなじゃないから！

215 もし良かったら友達というかペット…と言うかその…

216

217 ・（また恥じらいながら）

218

219 私を…側に置いてくれたら…その、凄く…嬉しい…デス。

220

221 //（主人公に結婚しようと言われる）

222

223 ええっ？！ちょっと私の話聞いてた？

224

それに…いきなり結婚だなんて…

225

私…家事とか全然できないし…

226

そもそも…こ、恋するのだって初めてなのに…

227

…本当にいいの？私なんかで…多分面倒くさいわよ？

228

全然素直じゃないし…料理も分かんないし…スタイルも…そんなよくないし…

229

可愛くないし…獣人だし…

230 今だけそんなこと言つて、
231 目が見える様になってからやっぱ無しとか言われたら私…泣くから。
232 …ちょっと笑い事じゃないんだから！
233 …うん…じゃあ約束…だから。
234
235 …（右側10センチ）
236 ・（落ち着いた雰囲気）
237 //（主人公…国に帰ったら絶対だ）
238
239 ええ…国に帰ったら…そっか…
240 そろそろ貴方にも話さなきゃいけないわよね…
241 明日、任務が終わったら全部話すから…
242 今は…気にしないで。
243
244 トリック4…純愛
245
246 …（正面20センチから「私に捕まって」のセリフで
247 正面5センチまで近づく）
248 ・（恋仲にもなり明るく少し初々しい感じ）
249

250 ねえねえ！さつき辺りを散策した時に
251 水浴び出来そうな湖を見つけたん…だけどさ、
252 だから…その…一緒にどうかなーて…思いまシテ…
253
254 //（主人公…いいね、お願いするよ）
255
256 うん！任せなさいよ。私が綺麗にしてあげるから！
257 それじゃあ早速行くわよ！ほら、私に捕まって。
258
259 ..（右耳5センチ）
260
261 はい、着いたわよ。大丈夫？
262 うん、良かった。それじゃあ、先に私…服脱いじゃうね…
263
264 ..（正面20センチ）
265 ・（大分恥ずかしがっている様子）
266
267 …見られてはないのに、すっごく恥ずかしい…
268 そんな残念がらなくても…別にそんないい物じゃないわよ…
269 おっぱいだって全然大きくないし…
270 つもー！ほら、貴方も！服、脱がすわよ。

271

…(正面10センチ)

272

273

274 よいしょ…わ〜ゴツゴツしてる。

275

筋肉質な体…やっぱり貴方も男の子なのね。ふふっ

276

…そ、それじゃあ…下も…脱がすわよ…

277

ほらほら、遠慮しないの。

278

…これがっ…て…えっ…これ…大きく…なってるわよね？

279

その…お、おちんちん…

280

いや！、謝る必要なんてないから！

281

ただびっくりして…その、初めて見るし…

282

…やっぱり私のせいで大きくなっちゃったのよね？

283

お、おちんちんが大きくなっていると、その…男の人は辛いんですよ？

284

だったら、私が性処理してあげるから！

285

私のせいで大きくなっちゃってるんだし…

286

それに私、貴方の…あんたの婚約者なんだから…

287

そう言うこと…してあげたいの…

288

289 …(後ろに回って左耳0センチ)

290 ・（性に対して興味があり主人公に奉仕してあげたいが、
291 それはそれとして不安や恐怖心が少しある）
292

293 うん、大丈夫だから、私に体を預けて…

294 それじゃあ…ちよつと触るわね…

295 ツンツン…ツンツン…結構硬いのね…

296 あ、ピクピクつてちよつと跳ねた。

297 ふふっ…なんか可愛い…

298 あ、ごめんなさい、

299 これだと焦らされてるみたいで余計おちんちん苦しいんだ…

300 えっと…どうすればいいの…？

301 ギュッて握ってシコシコくすればいいのね。

302 うん、頑張る。それじゃあ握りマス…

303 ぎゅ〜う〜う…わ、あったかい…

304 それに…少し、どくん…どくと脈打つてて…不思議な感じ…

305 これで合ってるのよね？大丈夫よね？

306 …仕方ないじゃない…初めてなんだから、慎重にもなるわよ…

307 強く握るのは…なんか怖いから…優しく握りマス…

308

309 // (ここから手コキ)

310

311 し、シーコシコ…シーコシコ…

312 大丈夫？痛くないわよね？

313 そう、気持ちいいなら良かった…

314 先っぽの…カサミたいになつてゐる所触ると凄い反応する…

315 っっ、敏感なんだ…ふふっやっぱり可愛い。

316 シコシコ、シコシコ、ふふふっ…なんだか楽しくなつてきちゃった。

317 おちんちんも…さつきより大きくなつてない？

318 私、上手く出来てゐることよね？

319 ふふっ、やっぱり私、優秀ね。

320 …えっちの天才とか言わなくて良いから…

321 あ、先っぽから汁が…これ射精…しちやつてるの？

322 これは我慢汁って言うんだ…気持ちよくなつてゐる証拠みたいなものってことね。

323 ふくん…そっか、なんか嬉しい…

324 …人間の耳って…こうなつてゐるんだ。

325 私達と全然違う…近くでマジマジと見たことないから…

326 なんだか新鮮…

327

328 「左耳に息を吸って少し吹きかける」

329

330 ふふっ…可愛い反応しちゃって…

331 ねえ、お耳…舐めても…いいわよね？…

332

333 「左耳舐め30秒」

334

335 …はあ…つい夢中になっちゃった…

336 そんなにビクビクしちゃって…ほんと可愛いんだから…

337

338 …（次の台詞で右耳0センチに移動）

339

340 次はこっちのお耳も…

341

342 「右耳に息を吸って少し吹きかける」

343

344 ぺ□ぺ□しちゃうわよ…

345

346 「右耳舐め30秒」

347

348 ん…どうしたの？

349 もしかして…射精、したくなって来ちゃったんだ。

350 そりゃ分かるわよ、そんなにおちんちんピクピクさせて、

351 我慢汁もこんなにだらだらさせてるんだもん。

352 もうお射精しちゃうんだ…

353

354 ・(手コキストップ)

355

356 はい、一旦休憩ね。

357 ふふつ、暴れないの。

358 ちゃんと射精させてあげるから。

359 私の質問に答えられたらね。ふふつ…

360 それじゃあ…私の…どこが好きなの？

361 全部とか、適当なこと言ったらダメだからね？

362 …意外に世話焼きって…そ、そうかしら…

363 …私は母親になんかになれないわよ…

364 またそんな事言って…

365 …責任、ちゃんと取って貰うわよ…

366 それじゃあ、約束通り…射精させてあげるから…

367 その…どうすればいいの？

368 もっと早くシコシコ…すればいいんだ…その…頑張りマス…

369

・(手コキスタート)

370

371

372 シコシコシコシコ…シコシコシコシコ…

373 おちんちん…すっごくカチカチになってて、

374 ビクビクしてて凄い…ほんとにもう限界なんだ…

375 我慢汁も凄いことに…

376 う、うん、いつでもお射精していいから、

377 私が手で受け止めてあげる…

378 …で、出そうなの？あつ…

379

380 //

(射精)

381

382 わく…沢山でてる…私の手の中にぴゅっぴゅって射精しちゃってる…

383 おちんちん…どくどくと脈打ってて…凄い…まだ出てる…

384 …大丈夫？お射精、落ち着いた？

385 ポケーとしちゃって…可愛い…ふふっ

386 そう…気持ちよかったなら…嬉しい…

387 わあ…これが…貴方の精液…熱くて、

388 トロトロしてて手に貼りついちゃってる…

389 すんすん…

390 なんか…生臭いのね…ちよつと…えっちな感じがするかも…

391
392 // (性液を舐める)

393
394 …ぺろっ…まあ…虫よりは美味しいかな…

395
396 トリック5…純愛2

397
398 …(正面10センチ)

399 …(元の明るい調子で)

400 それじゃ、おちんちんもスッキリしたことだし

401 早速水浴びに行きましょう！

402
403 …(左耳5センチから正面10センチに「貴方も…」のセリフで移動)

404
405 ほら、ちゃんと私がいるから大丈夫よ。

406 いやー冷たくて気持ちいいわね！

407 ずっとこんな森で野営してるんだもの

408 久しぶりにスッキリできるわね！

409 貴方も…て…何でまたおちんちん大きくしてるのよ！

410 男の人って一回射精したら、その…疲れちゃってもう…
411 おつきくならないんじゃないかな…？

412 …水浴びしてる私を想像して…興奮しちゃったんだ…

413 …そっか、じゃあ…私のせい…か…

414 うん…任せなさいよ、また私が性処理してあげるから…
415

416 …（正面5センチ）
417

418 それじゃあ、ここに腰を下ろして…

419 うん、大丈夫だから…そう…。

420 …おちんちん、またこんなに大きくさせて…

421 私以外の女の子だったら、その…嫌われちゃうんだから、

422 感謝しなさいよね！

423 …もうっ、ほんとに分かってるのかしら…

424 …おちんちん…あったかい…

425 水浴びして少し冷えたからかしら…

426 なんか安心する…、おちんちんに向かって何言ってるのよ、私…
427

428 //（おちんちんを舐める）
429

430 ぺ□ぺ□…

431 ふふっ…おちんちん、舐めちゃった。

432 なんだか、癖になる味…

433 匂いの方は…

434 …すんすん…

435 …凄くえっちな匂い…頭がくらくらしてくる…

436

437 // (頭を撫でられる)

438

439 …何頭撫でてんのよ。…別にやめろとは言っていないじゃない。

440 どうしても撫でてたいってんなら、特別に許してあげてもいいけど…

441 か、可愛いって…別に今言わなくてもいいじゃない…

442 もう！おちんちん、啜えてあげるから！ふえ、フェラしてあげる！


443 でも…初めてするんだから…下手でも文句言わないでよ…？

444 きつと、いつか上手になるから…

445 じゃあ…その…頂キマス…

446

447 ・(ごっからフェラ)

448 ・( 部分は啜えながら喋っている演技をお願いします)

449

450 はむっ…んんっ…ぷはっ…

451 やっぱり、む、難しいわね…

452 もうちょっとおちんちん小さく出来ないのかしら…

453 …むしろ大きくなってない？

454 もう…仕方ないわね…私、頑張るから…

455 はむっ…

456 「初々しい感じのフェラ音30秒」

457 ん…我慢汁が出てきて…なんかしょっぱい…

458 気持ちいいってこと…よね？

459 ならよかった…

460 続けるね…

461 「初々しい感じのフェラ音60秒」

462 ん…おちんちん激しく脈打って…ぷはっ…

463 そろそろお射精したくなっちゃったの？

464 うん、大丈夫だよ…私の口の中でお射精していいから…

465 でも…いきなり口の中に出されたら…その、びっくりしちゃうから…

466 射精する時は私の手をぎゅって握って教えてちょうだい？

467 うん、ありがと。ふふっ…

468 それじゃあ、ラストスパート…頑張るね…

469 「少し激しめのフェラ30秒」

470 ん…、射精しそうなんだ。

471 慌ててぎゅぐゅってしちゃって…可愛い…

472 うん…いつでも大丈夫だよ…

473 私の口の中に…沢山…精液出して…

474

475 // (射精、ゴックン)

476

477 んんっ！ん…ん…ごく…ごく…ぷはっ…

478 はあ…はあ…精液…沢山出したわね…全部飲んじやった…

479 ううん、全然嫌じゃ無いわよ。貴方が出してくれたんだもの。

480 私が飲みたくて飲んだの。それに…

481 虫よりはちよっと美味しいわよ？貴方の精液。うふふっ…

482 大丈夫？立てそう？

483 うん、それじゃあそろそろ上がりましょ？

484 これ以上体冷やして、風邪ひいちゃったら大変だから…

485

486 // (湖から上がり、支度を終える)

487 …（右前15センチ）

488

489 いやゝスッキリしたわね！

490

491 ・（少し落ち着いた雰囲気で）

492

493 …大丈夫、明日は私に任せて、絶対に作戦は成功させて

494 貴方の元に帰ってくるから。そして…

495 その後の事も…全部伝えるから…

496 だから…今日はもう寝ましょ？二回も射精したんだもの、

497 きつとす淒く疲れたでしょ？ふふっ…

498 いいのよ、私も貴方を気持ちよくしてあげられて嬉しいんだから。

499 うん、お休みなさい。

500

501 トリック6…山崩し

502

503 ・（独り言を言う様に）

504

505 わ、私、彼と結ばれちゃった…！家族になっちゃうんだ…！

506 つつゝ…！しかも、いきなりあんな事しちゃうなんて…

507 えっちな子だって思われちゃったらどうしよう…

508 ああ…私がこんな幸せに…幸せに？
509 何を言ってるのよ…私は…
510 彼を殺そうとした私に、そんな権利なんか…
511 明日伝えなきゃ…
512 …怖い…彼に拒絶されたら…
513 いや…違う、彼がきつと受け入れてくれる事なんて
514 ほんとは分かってる。
515 本当に怖いのは、そうやって彼の優しさに付け込んで
516 甘えて全部無かった事にして自分の心を守る…
517 そんな自分が一番怖い…大っ嫌い…
518 本当に狡い女ね、私。
519
520 …（正面20センチでマイクに背を向けて）
521 ・（独り言を言いながら準備をしている）
522
523 銃火器類…よし、無線機も…大丈夫ね…
524 作戦概要も敵基地内の構造の確認も大丈夫。
525 よし…準備は完璧ね。
526

527 …（正面15センチ、マイクに向かって）

528 （落ち着いた様子で）

529
530 あ、大丈夫よ、最終確認をしたの。

531 絶対に失敗できないからね、貴方を独りになんか出来ないもの…

532 安心しなさいって、私には朝飯前の作戦よ。

533 それに…ちよつとでも危険を感じたら、

534 作戦は中止してすぐ帰ってくるから。

535 ええ、いいの。命令は絶対だと思ってけど…

536 命令なんかよりずっと大切なものができたから…

537
538 （照れながら）

539
540 貴方が…大切だから…

541
542 ・（元の調子で誤魔化すように）

543
544 そ…それに、私が今死んだら貴方は大変でしょ？

545 うん、絶対に夜明けまでには帰ってくる。

546 だから…私を信じて、待っててくれる？

547 ふふっ、それじゃあ…

548 「唇に軽いキス」

549 行ってきますのキス…

550 恥ずかしいわね…ふふっ…

551 それじゃあ、行ってきます！

552
553 …（後ろ20センチ）

554 ・（作戦を終え帰ってきた）

555
556 やっ！ただいま。

557
558 …（正面15センチに移動しながら）

559
560 寂しくなかった？ふふっ

561 うん、怪我一つないわ、心配してくれてありがとう。

562 ええ、勿論作戦は成功したわ。あの要塞は対空機能と通信機能を失ったから、
563 次の攻勢作戦で陥落するはずよ。

564 ま、私の知った事じゃ無いけどね…

565 …ううん、何でもない。

566

567 ・（少しもじもじした感じ）

568
569 …そんなことよりさ…その、私、作戦は完璧にこなしたし…

570 ちゃんと帰ってきたわよ…？

571 だからさ…その…褒めてくれてもいいんじゃないかなーと。思いまシテ…

572
573 //（主人公が頭を撫でる）

574
575 えへへ褒められちゃった…

576 褒めすぎだつてゝもゝ

577 はあ…幸せ…

578 ああ…そつか…言わなきゃ…いけないわよね…

579
580 ・（覚悟を決めたように、真剣に）

581
582 それでさ、私…貴方に言わなきゃいけない事があるの。

583 ごめんなさい…私は…貴方の抹殺を命令されて…

584 貴方を殺すつもりだった。本当にごめんなさい…

585 勿論、今はそんなつもりはないに決まってるじゃない。

586 だけど、一度は殺す気だった。仲間である貴方を…

587 それを黙って、勝手に心変わりして…

588 おまけに彼女面までして、婚約だなんて…

589 本当に狡い女よね…

590 …そんな私に出来る…唯一の償い…何だけどさ、

591 亡命しましょ？

592 私、いろんなところから指名手配されてるの。

593 私を手土産にするってならきつと喜んで受け入れてくれるはずだから…

594

595 //（主人公…僕の事はなんだっていい、君を責めないよ。

596 だけど、君を犠牲にする作戦なんて絶対に許さないよ。）

597 ・（涙が込み上げてきている様子）

598

599 …やっぱり、貴方は怒ってくれるんだ…

600 ごめんなさい、私、分かったの…

601 貴方はきつと許してくれるって…

602 亡命の話をしたらきつと怒ってくれるって…

603 だから言ったじゃない…私。

604 悪い女に騙されちゃうわよって…

605 …ありがとう…こんな私を受け入れてくれて。

606 もう隠し事なんてしないから…
607 うん…亡命の話は無しね…他の作戦を考えましょ。
608 どの道、もうこの国にはいられないしね…
609 そうね…私達、お互いの事全然知らないわよね…
610 …ねえ、貴方の名前…聞いてもいいかしら？
611 …ふふつ、いい名前ね…
612 あなたの事が知れて嬉しい…
613 え、私？私…名前は無いの…
614 孤児だったし、すぐに軍部行きだったから、
615 コードネームのオルファンしか…
616 …「オル」？何それ…名付けてくれたの？
617
618 ・（感極まって、泣いている様子）
619
620 ううん、嬉しいの。「オル」…か、素敵な名前…
621 なんか、もう何て顔して何言えば良いかわかんないわよ…
622 …少し、胸借りるわよ…
623
624 …（正面0センチに移動）
625

626 【主人公の胸元で啜り泣く15秒】

627

628

629

630 トラック…7 暗闇

631

632 …(正面10センチ)

633 ・(泣ききって少しスッキリした様子)

634

635 はあ…恥ずかしいとこ見せちゃったわね…

636 うん、ありがとう。落ち着いたわ…

637 …貴方も話したい事があるの？

638 うん、勿論聞くに決まってるじゃない。

639

640 ・(慰める様に優しく)

641

642 ええ…そっか、そりゃ怖かったわよね…

643 視界を奪われ、独り暗闇の中だなんて…

644 …ううん、泣かないで…情けなくなかないわよ…

645 だって、ずっと我慢して…私の負担にならない様に

646 元気に振る舞ってくれてたのよね…すっごくカッコいいわよ。

647　　ますます惚れちゃう…だから…そんな顔をしないで…？

648　　そう…私の顔もわからないのも辛いよね…

649　　それじゃあ分かった。私に任せて…

650

651　　・（正面5センチ）

652

653　　ほら、手を貸して…

654　　ふふっ、手繋いじやった。これが私の手。

655　　私に触れて、触ることで私を知って欲しいの。

656　　ほら、こっちが肩…結構小さく感じるでしょ？

657　　女の子ってやっぱり男の子と比べると結構細身なんだから。

658　　顔、触って…ふふっ、ほったフニフニしちゃって、

659　　どう？私の顔…？ふふっ、よくわかんないか。

660　　そう…私の髪、結構長い方かな…綺麗？ふふっ…ありがとう。

661　　私の耳…触って良いから…優しく…してね？

662　　ふふっ…^{<ん>}擦^へりたい…ねえ、その…やっぱり好きなの？ケモミミ…

663　　そうなんだ…私は犬系の獣人だからな…

664　　猫系の子見るとちよっと羨ましかったり…

665　　私のが一番いいんだ？ふふっ…ありがと、嬉しい…

666 …もういいの？もうちょつとくらい良いわよ？
667 そつか…それじゃあ…次は尻尾ね？
668 最近は邪魔だって切っちゃたり、元々生えてない子も居るらしいけど…
669 私は結構大きい方かも…どうかしら？
670 そう？フワフワで気持ちいい？
671 そんなに喜んでくれるなんて…
672 良かった、尻尾残してて。
673 今度これで尻尾枕してあげよつか？うふふ…楽しみにしてて？
674 キヤっ／＼…尻尾の付け根、トントンしてくれたの？
675 ううん、気持ちよくてびっくりしちゃっただけよ。
676 …今は大丈夫だけど…発情期にそれしたら…
677 貴方の無事は保証できないからね？うふふっ…
678 じゃあ次は…お腹ね！
679 何照れてんのよ、ふっふっくん私、お腹には結構自信あるんだから！
680 じゃ、服捲ってるから、好きに触って良いわよ。
681 そう…こっち…
682 ほら、どうよ！日頃からトレーニングしてるし
683 食事だって気使ってるんだから！

684 貴方みたいに力チ力チじゃないけど、
685 腹筋もちよつとは割れてるし…
686 ね！良いでしょ！喜んでくれて良かった♪
687 …それじゃあ…次は…その…
688 お、おっぱいも…触らせてあげるから！
689 ほら、手貸しなさいよ。
690
691 //（主人公の手を胸に押し当てる）
692
693 …えいつ…
694 悪かったわね、おっぱい…大きくなって…
695 こればかりは仕方ないじゃない…
696 私には与えられなかった。それだよ。
697 …それ、フォローしてるつもり？
698 …これぐらいが良いの？
699 おっぱいは大きさより質…
700 貴方、分かってるじゃない…
701 ほら、もつと触っていいわよ？
702 えへへ…恥ずかしい…

703 んっ…そこカリカリされたら…気持ちいい…

704 はあ…はあ…

705

706 ・（火照りながら罪悪感や愛情込み込みの感情）

707

708 …私のこと、全部受け入れてくれるんだから…

709 本当に…もう引き返せないからね？

710 …っご、触って？そう…私の…おまんこ…

711 んっ//…凄い濡れちゃってる…

712 貴方だってもう分かってるんでしょ？

713 私が何しようとしてるか…

714 ごめんなさい…貴方が断れないことも

715 絶対に私を受け入れてくれることも全部分かてる。

716 やっぱり狡い女ね、私。

717 でも、本当に…貴方が好きで…愛おしくて…大切な気持ちは本当だから！

718 …押し倒しちゃった…

719 ねえ…私、初めてだけど…頑張るから…

720 貴方もなの？…そっか…一緒なんだ…

721 嬉しっ…

722 下、脱がしちゃうね…

723 おつきくなってる…貴方も…期待してくれてたの？

724 可愛い…ツンツン…ふふっ…

725 跨って…と…うん、私…もう我慢できないから…

726 それじゃあ、挿れちゃうわよ？

727 え、避妊？大丈夫、私今発情期じゃないから…

728 何よ…貴方が悪いんだからね？

729 …えいつ！

730

731 ・（破瓜、少し痛がりながらも健気な雰囲気）

732

733 んんっ…！はぁ…はぁ…後、半分くらい…か…

734 もうちょっとだけ待ってね…うん、ありがと。

735 ううん、全然辛くなんかないわ、ちよつとだけ痛いけど…

736 貴方を受け入れられるなら…どんな代償だって厭わ^{いと}ない、

737 だから…全部…挿れるわよ…？

738 んんっ…んっ…はぁはぁ…全部…入った…

739

740 ・（少し感極まって）

741

742 貴方と…やっと一つになれたんだ…
743 初めて出来た…世界に一人だけの家族の貴方と…
744 本当の意味で…一つに…
745 ねえ、キスしても良いわよね？
746 【ぎこちなく激しいキス10秒】
747 はあ…はあ…
748 好き…好き…大好き…
749 好き…好き…愛してる…
750 世界で誰よりも…愛してるから！
751 はあはあ…ねえ、貴方も…私の事…好き？
752 えへへ…ならさ、「オル」って私の名前、沢山呼んで…？
753 ん／＼はい、オルですよえへへ…
754 次は好きって、沢山言つてよ…
755 …はあ、だめ…私の頭の中、貴方でいっぱいになっちゃう…
756 好き、好き好き好き好き…すーき…大好き…
757 すーき、すーき…
758 貴方も…頭の中私でいっぱいにして？
759 お互いをお互いでいっぱいにしちゃいましょ？

760 貴方がいたらもう何もいらなから…

761 はあ…はあ…そろそろおまんこ…

762 慣れてきたから…

763 うん、きつとへたっぴだと思っけど…

764 貴方に喜んでもらえる様頑張るから…

765 じゃあ、動くわよ…？

766

767 ・（挿挿開始）

768

769 んっ…はあ…はあ…

770 うん…全然痛くないわ…

771 貴方が優しくしてくれてるから…

772 どうかしら？気持ちいい？

773 そっか…よかった…もっと頑張るからね？

774 はあ…はあ…ちよっと…抱きついてもいいかしら？

775 ありがと…ちよっと、難しくて…

776

777 ..（左耳0センチ）

778

779 はあ…はあ…相変わらず…元気なおちんちんね…

780 私初めてだったのに、こんなおちんちん挿れちゃうなんて…

781 もっと優しい人だと思ってたのに…ふふっ…

782 冗談に決まってるじゃない。

783 おちんちん大きくしてくれて嬉しい…

784 もっと頑張りたくなっちゃうわよ…

785 ん…抱きしめてくれるの？

786 ありがと…私、すっごく幸せよ…

787 貴方の腕の中…すっごく安心する…

788 死ぬなら…ここがいいな…

789 ごめんなさい、ちょっと暗い話しちゃった…

790 でも…私より先に死んだら絶対許さないから…

791 だーめ、私をちゃんと看取ってちょうだい？ふふっ…

792 私をこんな骨抜きにしたのは貴方なんだから…

793 ちゃんと責任取りなさいよね…？

794 んっ…大分おまんこ慣れてきたわね…

795 うん…私も気持ち良くなってきたわ…

796 ねえ、貴方も動いてみる？

797 せっかく初めて同士なんだからさ…

798 気にせずチャレンジしてみましょ？
799 ふふっ…大丈夫だって。
800 それじゃあ…今度は私が下になるから…
801 うん…正常位で頑張ってみましょ？
802
803 …（右耳0センチ）
804
805 よい…しょ…
806 わあ…凄いドキドキしちゃう…
807 うん…腰振り頑張って…！
808 んっ…んっ…そう…上手に出来てるわよ…
809 ふふっ…頑張って腰振っちゃって…ほんと可愛いんだから…
810 んっ…はあ…ん…
811 はあ…はあ…やばい…そんなに一生懸命へこへこさせて…
812 可愛すぎて頭おかしくなっちゃうわよ…
813 うん…頑張って…すっごく気持ちいいわよ…
814 あっ…耳さわっちゃ…あっ…あっ…
815 んん／＼はあ…はあ…
816 私だけ先にイっちゃった…

817 いきなり耳を撫でるなんてゝもっつ…

818 お返しよ…

819
820 【右耳舐め30秒】

821

822 はあ…はあ…こっちのお耳も…

823

824 【左耳舐め30秒】

825

826 はあ…はあ…あつ…

827 腰振り、早くなつて…

828 そろそろ…射精したいの？

829 そつか…うん、大丈夫だよ…

830 私の中に出して良いからね…

831 大丈夫だって…外に出したら怒るから…

832 ふふっ…貴方が私の事…全部受け入れてくれたように、

833 私も貴方の全てを受け止めたいの…

834 だから、私の一番奥で…性液全部出して欲しいの…

835 んっ…はあ…はあ…、もう我慢できない？

836 どんどん動き早くなつて…

837 …ねえ…射精する時に私の事…ぎゅって抱きしめてさ…
838 「オル、愛してる」って言ってくれない？
839 うん、お願い…
840 あっ…動き…凄い早くなって…はあ…はあ…
841 射精しちゃうんだ…私の中に…
842
843 …うん、私も…貴方を愛しています…！
844
845 // (射精)
846
847 んん／＼沢山っ…私の中に…
848 うん…全部…私が受け止めるから…
849 まだ出そう…？大丈夫よ…残さず全部性液出し切ってね…
850 はあ…はあ…お射精、落ち着いた？
851
852 …(右耳5センチ)
853 …(事後、少し疲れつつも満足した様子)
854
855 ふふっ…お疲れ様。
856 私もすっごく気持ちよかったわ…

857 あ、まだおちんちん抜かないで…？

858 まだ貴方と繋がっていたいの…

859 うん、ありがとう。

860 …はあ…幸せ…

861 貴方に逢えて…本当によかった…

862 私を求めてくれて、私に名前をくれて…

863 私の家族になつてくれて…私を…受け入れてくれた。

864 私が貴方に出来ることは少ないかもしれないけれど…

865 少しでも恩返しできるように頑張るから。

866 えゝ何が逆よ、私が貴方に何してあげたつてのよ。

867 光に…？

868 何ポエム呟いてんのよ…

869 こっちが恥ずかしくなるじゃない…

870 貴方がそうなっちゃったのは私を庇ったせいじゃない

871 その償いをするのは当たり前よ…

872 ふふつ、分かったつて…お互い様ね。

873 これからの事は…一緒に考えましょ…？

874 だからさ…その、今日はここで…貴方の腕の中で寝てもいい…かしら…

875 わぁ…やった。えへへ

876 ええ…子供は二人ゝって、先の事すぎるわよ？！

877 もうっ…私が母親になるなんて想像もできないってのに…

878 私…海が見える家がいい…

879 うん、少し海に憧れがあるのよね…

880 私達の国は内陸国だから海がないしね、なかなか見る機会なんてないもの…

881 今はあるんだっけ…最近、領土変わり過ぎて覚えてないわ…

882 …うん、全部上手くいったら、

883 一緒に海を見に行きましょう…約束よ…

884 じゃあ、もう寝ましょうか…

885 うん…お休みなさい…

886 ありがとう…大好き…

887 【添い寝180秒】

888

889 トラック8…閉幕

890

891 …(右前15センチ)

892 ・(感傷に浸りながら、思い出を振り返る)

893 // (二人で海辺に来ている。視力は治っています)

894
895 綺麗…
896 私達、もういいのよね…
897 二人で…幸せになっちゃっても…
898 …仕方ないじゃない、やっと私達の戦いは終わったんだから…
899 感傷にも浸りたくなるわよ…
900 ええ、この村の人達には感謝しても仕切れないわ。
901 身元不明の余所者二人、しかも一人は獣人だつてのに、
902 貴重な若者だー！って、何も聞かずに受け入れてくれるんだもの。
903 しかも…お医者さんにも見せてくれて…
904 ええ、本当によかったわ、目が治って。
905 でも、だからって私の事ひん剥いて、色んなとこまじまじ見るなんて…
906 流石に恥ずかし過ぎるわよ…
907 うん…帝国は多分二人共死んだと思ってるはずよ。
908 ごめんなさい、貴方の家族を悲しませる様な事になって…
909 私達が同士討ちしたように偽装して
910 身分を捨てて中立国に密入国する…
911 それしか私達には無かったもの。

912 ええ…戦争が終わったなら一緒に謝りに行きましょ。

913 わ、私の紹介も?!

914 獣人だけど大丈夫かしら…

915 …そうね、貴方のご両親だもの…

916 きつと素敵な方々に違いないわよね。余計な心配だったわ…

917 私も…自慢のお嫁さんとして紹介できる様頑張りマス…

918 そ、そう言えば、山岳要塞は陥落したらしいわよ。

919 これからこの戦争は一気に転換を迎えるはず。

920 でも…どうなってもいいわ。

921 もう私は帝国のオルファンじゃない、

922 貴方のオルだもの。うふふ…

923

924 ・(ちよつと^{からか}揶揄う様に笑って)

925

926 でもきつと、貴方はずっと変わらないわよね?ふふつ。

927 コードネーム「ケモミミフェチ」さん?

928

929 ボーナストラック…「オル」との日常

930

931 …(正面15センチ)

932 ・（新妻の初々しく愛情が感じられる様子）

933 //（前回から3ヶ月程経過しています）

934 //（玄関で帰ってきた主人公を出迎える）

935

936 あっ！お帰りなさい！

937 今日もお疲れ様です…うふふ…

938 なんかだかまだ慣れないわね…

939 貴方はもう新しいお仕事慣れた？

940 確かお魚さんを獲るお仕事よね。

941 そっか、所謂…いぬめ退役軍人たいえきぐんじんだもんね。

942 カ仕事は任せなさいってとこね。うふふ…頼もしいわ。

943

944 ・（恥ずかしがって）

945

946 それじゃあ…さ、その…

947 ぐ飯にする？お風呂にする？それとも？

948 …やっぱなし！無理無理…こんなの恥ずかし過ぎるわよ…

949 …私にするんだ…

950 っっ//わ、わかったから！からか揶揄わないでよ！もっ

951 それで…今日は…どんな感じで…しちゃうの…？

952 え…おっぱい？ぱ、パイズリって…

953 貴方、冗談もほどほどにしないでよ…

954 …まさか本気なの…？

955 …本気なのね…もく！わかったわよ。わかりました。

956 その…パイズリでおちんちん、お世話してあげる…

957 じゃあ、寢室…行きましょ？

958

959 //（寢室に移動）

960 …（正面5センチ）

961

962 えっと…私が跪くから、貴方は立っててね。

963 じゃあ、服…脱ぐね…

964 …ど、どうかしら…私の…おっぱい…

965 貴方が沢山揉んでくれたから…

966 ちよつとは大きくなった…かも…

967 …貴方が選んだおっぱいでしょ！文句言わないでよね…

968 それじゃあ、ズボン脱がすわよ…

969 あれ…パンツが引つかかって…

970 あいたっ…おちんちに引っ叩かれた…
971 元気すぎよ…
972 全く…新妻を引っ叩くなんて
973 紳士の風上にも置けないおちんちんね。
974 この微妙な大きさのおっぱいがお似合いよ。ふふっ…
975 とりあえず、おちんちに唾を垂らして…
976 【よだれをおちんちに垂らす】
977 うん、これで滑りやすくなったはずよね…
978 じゃあ…挟むわよ…？
979 …やっぱり全然挟めないじゃない…
980 頭の部分どころか、半分くらい出てきちゃってるわよ…
981 まるで景気のいいソーセージドッグみたい…獣人だけに…
982 …なんでもないわよ…
983 取り敢えず、上下に動くわよ…
984
985 ・（パイズリ開始）
986
987 ようしょ…ようしょ…
988 難しいし、なんか惨めになってくる…

989 牛の子達位大きければ…楽勝でこのおちんちん、
990 おっぱいに埋めてあげられるってのに、くっ…
991 …ふーん…何よ、私くらいのが頑張ってるのに興奮するってこと？
992 まあ、確かに私の方が頑張ってるもんね。
993 その方が評価されるべきよね。
994 ほら、褒めなさいよ。
995 …複雑な気分…
996 でも、貴方にとってはこのおっぱいが一番なんでしょ？
997 なら、私はそれが一番嬉しい。うふふっ…
998 ところで…二つあるけど…右左、どっちが一番なの？
999
1000 //（右と即答）
1001
1002 いや、冗談に決まってるじゃない…何即答してんのよ…
1003 …因みに、なんで右のが好きなのよ？
1004 右下の黒子がえっちって…
1005 何よそれ…私ですら知らないんだけど…
1006 …ほんとだ、黒子がある…
1007 全く、私のおっぱい好きすぎよ…

1008 もう…結構コンプレックスだったのに、

1009 貴方のせいで…なんか勘違いしちゃうじゃない…

1010 ほーら、貴方のおちんちん、大好きなおっぱいに挟まれちゃってるわよ。

1011 おちんちん、幸せそうに脈って…かわいい…

1012 私の胸元でドクンドクンって…なんだか赤ちゃんみたい…

1013 …なんで自分のおちんちに嫉妬してるのよ…

1014 あ、我慢汁が出てきてる、よかった…ちゃんと気持ち良くなってくれてるんだ…

1015 ふふっ…ほらほらくおちんちん、黒子の部分に押し付けてあげる…

1016 グリグリ〜

1017

1018 // (射精)

1019

1020 キヤっ!？え、どうしたのよ？

1021 あ…射精しちゃってる…

1022 ふふっ…別に謝らなくていいわよ。

1023 気持ち良過ぎて暴発しちゃったのよね？

1024 いつもちゃんと…射精する時教えてくれるもん。

1025 わざとじゃないってわかってる。

1026 寧ろ嬉しい。それだけ私のおっぱいで喜んでくれたって事でしょ？

1027 それに…おちんちん、まだまだ元気いっぱいじゃない。

1028 貴方の精液でおっぱい…とってもぬるぬるになっちゃった…

1029 ほら、また挟んであげる。次はちゃんと谷間に出してね？ふふふ…

1030

1031 〳〵（パイズリ開始）

1032

1033 はーい、おちんちん、おかえりなさい…

1034 ふふっ…おちんちんガチガチであったかい…

1035 よいしょ…よいしょ…

1036 おっぱい…精液でぬるぬるしてて、もっと気持ちいいでしょ？

1037 すーぐまた射精しちゃうかもね？うふふっ…

1038 私も…乳首が擦れて、気持ち良くなってきちゃった…

1039 はあ…はあ…おちんちん、すぐ目の前に…

1040

1041 ・（すっかり発情したように）

1042

1043 すんすん…はあ…はあ…えっちな匂い…

1044 ちょっとだけ…ちょっとだけだからさ…

1045 おちんちん…噛んでもいい…かしら…？

1046 そ、そんなに怯えないでよ！絶対痛くしないから…！

1047 かるーく甘噛みするだけだから！ね！

1048 えへへ〜ありがと。

1049 それじゃあ早速…頂きま〜す…

1050

1051 //（甘噛みフェラ）

1052

1053 はむっ…はむっ…あむっ…

1054 はあ…美味しい…ぺろぺろ…

1055 あむ…ぷはっ…

1056 どう？気持ちいい？

1057 そっかそっかあ〜えへへ〜

1058 でも、射精はおっぱいでしたいでしょ？

1059 なら…ちゃんと我慢しないとね？うふふ…

1060 あーむっ…あむっ…はむ…はむ…

1061 れろれろれろ…はむはむ…

1062 はむ…はむ…んっ…あむ…はむはむ…んん…

1063 ぷはっ…

1064 大丈夫？痛くない？

1065 うふふ…そっか、貴方も癖になりそうなのね？

1066 じゃあもつとハムハムしちゃうから…

1067 あむっ…んっ…ん…あむあむ…んく

1068 はむっ…はむっはむっ…ハムハム…ぷはっ

1069 はぁ…はぁ…美味しかったく

1070 ありがと…凄く楽しかった。えへへく

1071 おちんちんもビクビクして…甘噛みされながらおっぱいで沢山挟まれて、

1072 大変な事になっちゃってる…

1073 ようしよし、沢山おっぱいで気持ち良くなってね…

1074 よいしょ…ふふっ…腰、ガックガクじゃない。

1075 私の肩に捕まっついていいから…

1076 もう…腰動いちゃってるわよ？

1077 必死すぎだつて…貴方だけのおっぱいだし、

1078 逃げたりしないから…

1079 んっ…激し過ぎよ…

1080 そろそろお射精したいの？

1081 そっかそっか、そしたらおっぱい、好きにしていいわよ…

1082 でも、乱暴にしたら怒るから…

1083 ふふっ…冗談よ、貴方がそんな事絶対しないって分かってるから。

1084 ほら、好きに触って？

1085 ビビり過ぎだって…そんな宝物みたいにおっぱい触って…

1086 優しい…でも、それじゃおちんちんもどかしいんじゃない？

1087 もっと強くしてもいいのに…

1088 おちんちん…凄い震えて…射精したいのよね？

1089 ほら、我慢しないでいいんだから…

1090 おっぱいでおちんちん、ぎゅーってしちゃいましょ？

1091 はい、ぎゅー！んっ //

1092 おちんちん熱い…おっぱいに強く擦り付けられて…感じちゃう…

1093 ん…ビクビクって跳ねた…そろそろ出そうなの？

1094 じゃあ、私がおっぱい、ぎゅってしてるから…

1095 いつでも…私のおっぱいで射精していいわよ…

1096 はい、お射精どうぞ。

1097 // (射精)

1098 ピュっぴゅっ

1099 んっ…凄い勢い…二回目だったのに…こんな沢山…

1100 …大丈夫？お射精…落ち着いたわね。

1101 ふふっ…おっぱい…性液でベトベト…もう、顔まで飛んできたわよ？

1102 あ、拭いてくれるの？ありがと♪。

1103 じゃ、私もおちんちん綺麗にしてあげる。

1104

1105 //（お掃除フェラ）

1106

1107 ん、ぺろ…ぺろ…んん…あむあむ…

1108 ん…ふはっ…

1109 よし、綺麗になったわね。

1110

1111 ・（左10センチに移動しながら）

1112

1113 はあ…もうすっごい疲れたわね…

1114 うん、貴方もお疲れ様。

1115 こんな日が…ずっと続けばいいのに…

1116 ええ…きつと私達なら大丈夫よね。

1117 ずっと頼りにしてるからね、旦那様？

1118

1119

1120

ケモミミ戦記 天 完